

第1部 人口動態 (平成26年中)

1 人口と世帯の概況

(1) 人口の動き

平成26年中の人口増加数は8,192人となっています。これを社会増加数と自然増加数とに分けてみると、社会増加数が7,579人（転入 130,105人、転出 129,947人、その他増減 7,421人増）、自然増加数が613人（出生 30,780人、死亡 30,167人）となっています。平成25年中と比べ、社会増加数は2,891人の増加、自然増加数は922人の減少となっています。

平成以降の人口増加数の動きをみると、平成7年に7,049人と大きく減少した後、8年以降は増加に転じ、13年は36,405人となりました。その後、平成19年を除き年々減少し、23年は最低の2,218人と大幅に減少しました。平成24年以降は再び増加に転じ、26年は8,192人の増加となりました。

また、平成16年以降の人口動態を男女別にみると、女性の人口増加数が男性を上回っており、26年についても女性5,741人に対して男性2,451人と女性の人口増加数が3,290人上回りました。

[図1-1、図1-2、表1-1、統計表第3表～第5表]

図1-1 人口の増加の推移 (昭和22年中～平成26年中)

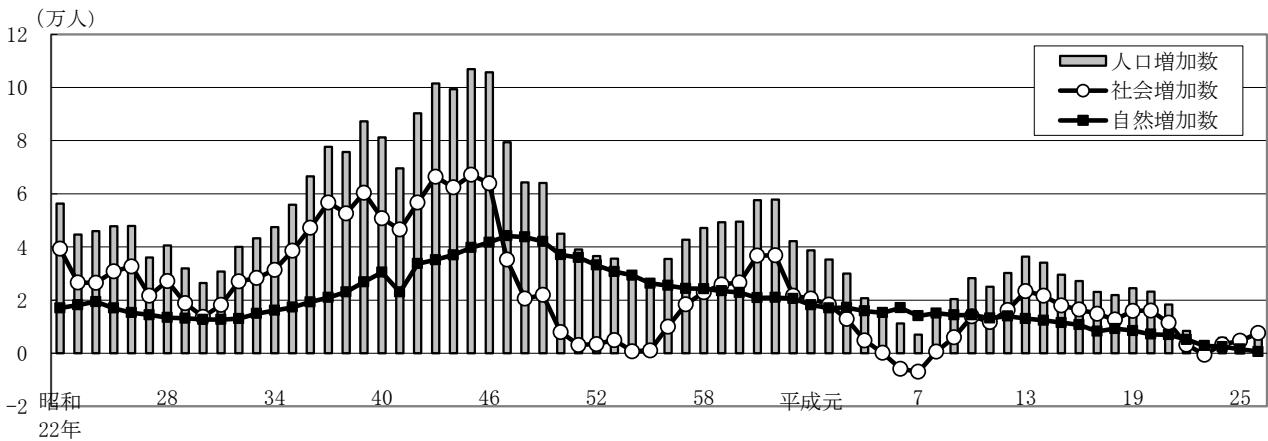


図1-2 男女別人口動態 (平成16年中～平成26年中)

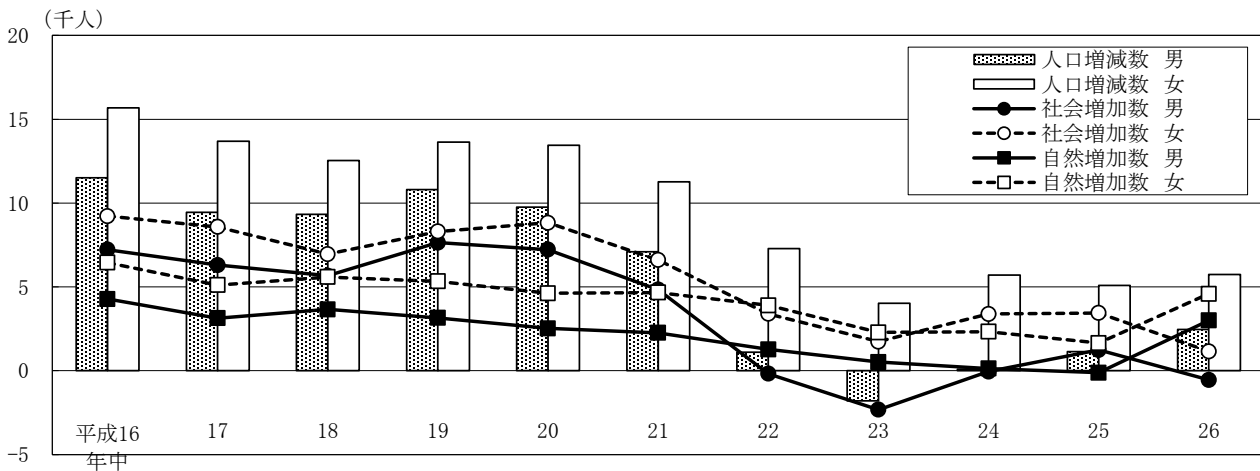


表 1-1 人口動態の推移 (昭和 22 年中～平成 26 年中)

年 中	人 口 増加数	人 口 増加率 (%)	社 会 動 態				自 然 動 態		
			社 会 増加数	転 入	転 出	その他 増 減	自 然 増加数	出 生	死 亡
昭和22	56,312	7.30	39,281	97,015	57,734	-	17,031	27,529	10,498
23	44,697	5.40	26,561	117,218	90,657	-	18,136	26,058	7,922
24	45,951	5.24	26,534	107,732	81,519	321	19,417	27,116	7,699
25	47,758	5.18	30,778	106,592	75,634	△ 180	16,980	24,063	7,083
26	47,938	4.97	32,685	110,147	78,469	1,007	15,253	22,008	6,755
27	36,057	3.56	21,643	94,168	72,688	163	14,414	20,400	5,986
28	40,559	3.87	27,180	93,917	66,429	△ 308	13,379	19,922	6,543
29	31,903	2.93	18,784	91,007	72,705	482	13,119	19,537	6,418
30	26,383	2.35	13,677	82,876	68,915	△ 284	12,706	19,118	6,412
31	30,783	2.67	18,142	80,937	61,617	△ 1,178	12,641	18,717	6,076
32	40,067	3.39	27,042	89,229	61,632	△ 555	13,025	19,736	6,711
33	43,218	3.54	28,282	92,278	63,712	△ 284	14,936	21,303	6,367
34	47,480	3.75	31,386	96,726	64,955	△ 385	16,094	22,220	6,126
35	55,882	4.26	38,610	104,337	64,993	△ 734	17,272	23,272	6,000
36	66,524	4.79	47,218	117,551	69,516	△ 817	19,306	24,710	5,404
37	77,675	5.34	56,702	137,482	80,222	△ 558	20,973	26,647	5,674
38	75,704	4.94	52,624	142,348	89,469	△ 255	23,080	28,617	5,537
39	87,243	5.43	60,386	163,566	102,111	△ 1,069	26,857	32,374	5,517
40	81,221	4.79	50,777	163,100	112,605	282	30,444	37,213	6,769
41	69,546	3.85	46,534	163,137	117,746	1,143	23,012	29,197	6,185
42	90,353	4.82	56,649	176,017	120,813	1,445	33,704	40,433	6,729
43	101,545	5.16	66,421	198,484	133,246	1,183	35,124	42,433	7,309
44	99,352	4.80	62,372	206,825	145,981	1,528	36,980	44,114	7,134
45	106,907	4.93	67,152	223,393	157,019	778	39,755	47,622	7,867
46	105,690	4.67	63,941	228,455	164,481	△ 33	41,749	50,490	8,741
47	79,354	3.35	35,178	206,752	172,834	1,260	44,176	53,562	9,386
48	64,276	2.63	20,531	202,635	183,235	1,131	43,745	53,504	9,759
49	64,035	2.55	21,963	194,347	173,581	1,197	42,072	52,394	10,322
50	44,988	1.75	7,943	174,150	168,068	1,861	37,045	47,353	10,308
51	39,094	1.49	3,091	163,519	162,907	2,479	36,003	46,322	10,319
52	36,569	1.37	3,418	164,186	162,386	1,618	33,151	43,758	10,607
53	35,625	1.32	4,930	162,893	159,161	1,198	30,695	41,625	10,930
54	30,035	1.10	712	164,686	162,397	△ 1,577	29,323	40,306	10,983
55	27,337	0.99	1,043	157,616	156,070	△ 503	26,294	37,977	11,683
56	35,502	1.28	10,032	158,942	149,921	1,011	25,470	37,493	12,023
57	42,756	1.52	18,417	162,855	145,411	973	24,339	36,381	12,042
58	47,155	1.65	22,891	162,049	139,659	501	24,264	37,179	12,915
59	49,315	1.70	25,882	163,354	138,057	585	23,433	36,466	13,033
60	49,471	1.67	26,633	165,318	138,923	238	22,838	36,063	13,225
61	57,605	1.92	36,740	175,943	139,712	509	20,865	34,461	13,596
62	57,776	1.89	36,805	181,661	145,034	178	20,971	34,773	13,802
63	42,157	1.35	21,590	174,968	153,560	182	20,567	35,321	14,754
平成元	38,737	1.23	20,559	177,756	157,841	644	18,178	32,774	14,596
2	35,294	1.10	18,276	181,160	162,949	65	17,018	32,746	15,728
3	30,013	0.93	12,852	175,427	165,019	2,444	17,161	33,651	16,490
4	20,703	0.64	4,820	174,042	169,942	720	15,883	32,896	17,013
5	15,365	0.47	138	170,920	171,532	750	15,227	32,692	17,465
6	11,208	0.34	△ 5,852	167,606	173,949	491	17,060	34,617	17,557
7	7,049	0.21	△ 6,987	161,795	169,462	680	14,036	32,899	18,863
8	15,650	0.47	570	161,504	161,622	688	15,080	33,567	18,487
9	20,373	0.61	6,023	163,280	157,828	571	14,350	33,273	18,923
10	28,262	0.84	13,870	165,655	152,481	696	14,392	34,547	20,155
11	24,979	0.74	11,747	164,918	153,616	445	13,232	33,676	20,444
12	30,161	0.89	16,229	166,939	150,866	156	13,932	34,295	20,363
13	36,405	1.06	23,376	171,197	148,076	255	13,029	33,722	20,693

表 1-1 人口動態の推移 (昭和 22 年中～平成 26 年中) (続)

年 中	人 口 増加数	人 口 増加率 (%)	社 会 動 態				自 然 動 態		
			社 会 増加数	転 入	転 出	その他 増 減	自 然 増加数	出 生	死 亡
平成14	34,074	0.98	21,668	168,252	147,176	592	12,406	33,699	21,293
15	29,509	0.84	17,986	167,648	150,193	531	11,523	33,271	21,748
16	27,176	0.77	16,449	163,112	147,542	879	10,727	33,238	22,511
17	23,119	0.65	14,875	160,213	146,020	682	8,244	31,722	23,478
18	21,874	0.61	12,628	158,738	146,852	742	9,246	33,023	23,777
19	24,439	0.68	15,951	161,065	145,772	658	8,488	33,122	24,634
20	23,191	0.64	16,049	158,311	143,248	986	7,142	32,694	25,552
21	18,362	0.50	11,440	153,945	143,369	864	6,922	32,816	25,894
22	8,389	0.23	3,215	145,701	143,460	974	5,174	32,747	27,573
23	2,218	0.06	△ 590	139,112	139,905	203	2,808	31,296	28,488
24	5,795	0.16	3,335	137,848	137,784	3,271※	2,460	31,623	29,163
25	6,223	0.17	4,688	133,553	132,953	4,088※	1,535	30,753	29,218
26	8,192	0.22	7,579	130,105	129,947	7,421※	613	30,780	30,167

注1) 人口増加数、社会動態、自然動態については各年1月1日～12月31日までの集計数値である。

注2) 人口増加率については、各年1月1日現在の人口に対する増加数の割合である。

注3) 「その他増減」とは、住民基本台帳の記録漏れ又は誤記等を知った際の職権による住民票の記載、消除または修正による増減、外国人の帰化や国外からの転入による増、国籍喪失による減などをいう。

なお、本表では市内移動の増減数を「その他増減」に含めている。

※ 平成 24 年中以降の「その他増減」のうち、外国人の国外からの転入数を「転入」として集計した場合、社会動態の内訳は右の表のとおりの数値となります。

	転入	その他増減
平成 24 年中	141,289	-268
平成 25 年中	140,356	-2,801
平成 26 年中	138,809	-1,344

・人口増加数が多い港北区、増加率が高い磯子区

人口の動きを行政区別にみると、平成26年中は11区で増加、7区で減少しています。

増加数をみると、港北区が最も多く、2,764人の増加となり、次いで磯子区(1,893人)、鶴見区(1,850人)、神奈川区(1,405人)の順となっています。

また、増加率では磯子区が1.17%と最も高く、次いで港北区(0.82%)、鶴見区(0.66%)、神奈川区(0.60%)の順になっています。

一方、減少した区では、金沢区が1,216人と最も減少し、減少率では栄区(0.72%)に次いで金沢区(0.59%)、港南区(0.49%)の順になっています。

[図1-3、図1-4、表1-2、統計表第5表]

図1-3 行政区別人口増加率

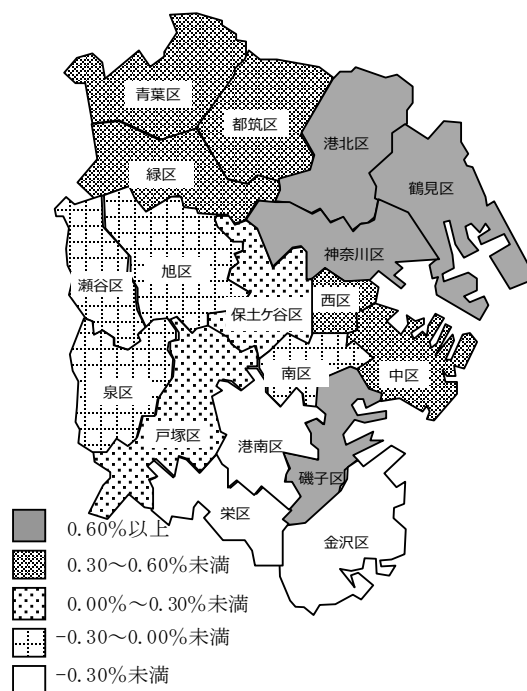


図1-4 行政区別人口動態 (平成26年中)

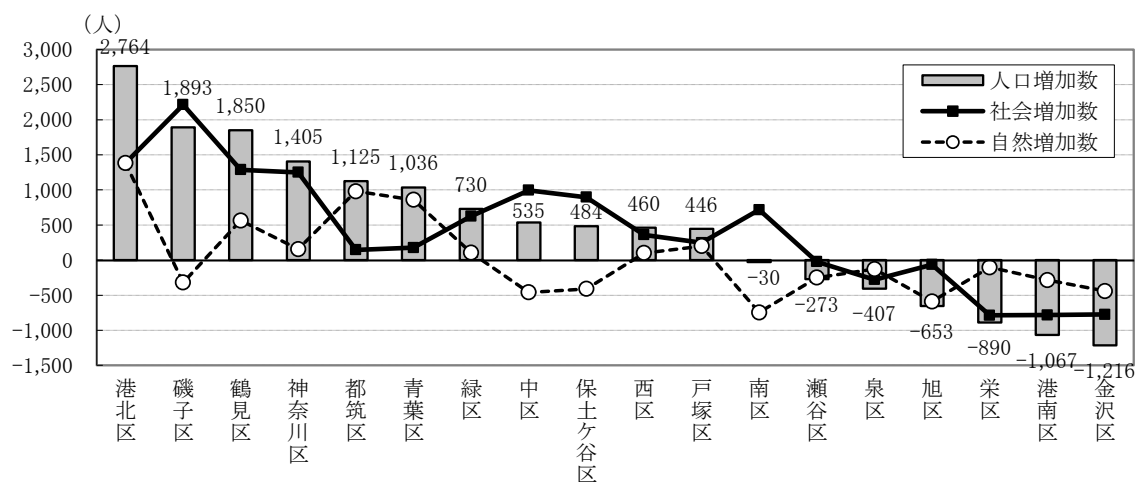


表1-2 行政区別人口及び人口増減 (平成26年中)

行政区	人口(1月1日現在)		人口増減				
	平成26年	平成27年	人口増加数	社会増加数	自然増加数	人口増加率(%)	人口増加率順位
横浜市	3,703,258	3,711,450	8,192	7,579	613	0.22	-
鶴見区	280,234	282,084	1,850	1,286	564	0.66	3
神奈川区	234,496	235,901	1,405	1,249	156	0.60	4
西区	97,251	97,711	460	360	100	0.47	6
中区	147,065	147,600	535	994	△ 459	0.36	8
南区	194,393	194,363	△ 30	717	△ 747	△ 0.02	12
港南区	217,782	216,715	△ 1,067	△ 783	△ 284	△ 0.49	16
保土ヶ谷区	204,290	204,774	484	895	△ 411	0.24	10
旭区	248,560	247,907	△ 653	△ 64	△ 589	△ 0.26	14
磯子区	161,968	163,861	1,893	2,213	△ 320	1.17	1
金沢区	204,453	203,237	△ 1,216	△ 775	△ 441	△ 0.59	17
港北区	338,969	341,733	2,764	1,380	1,384	0.82	2
緑区	178,783	179,513	730	626	104	0.41	7
青葉区	307,844	308,880	1,036	177	859	0.34	9
都筑区	209,626	210,751	1,125	146	979	0.54	5
戸塚区	273,962	274,408	446	247	199	0.16	11
栄区	123,176	122,286	△ 890	△ 787	△ 103	△ 0.72	18
泉区	154,807	154,400	△ 407	△ 278	△ 129	△ 0.26	14
瀬谷区	125,599	125,326	△ 273	△ 24	△ 249	△ 0.22	13

(2) 世帯の動き

・世帯規模は縮小し単身世帯化が進む

平成27年1月1日現在における世帯数は1,632,699世帯で、前年に比べ13,965世帯（0.86%）増加しています。平成26年中の世帯数の動きをみると、転入や世帯分離による増加が141,737世帯、転出や世帯合併による減少が127,772世帯となっています。

また、1世帯当たり人員は2.27人で、前年の2.29人よりさらに世帯の規模は縮小しています。

世帯人員別の世帯数の割合は10年前と比較して、1人世帯と2人世帯が増加し、3人以上の世帯が減少しており、単身世帯化や世帯規模の縮小化が進んでいることが分かります。

[図1-5、図1-6、表1-3、統計表第1表]

図1-5 世帯数及び1世帯当たり人員の推移（昭和22年～平成27年）

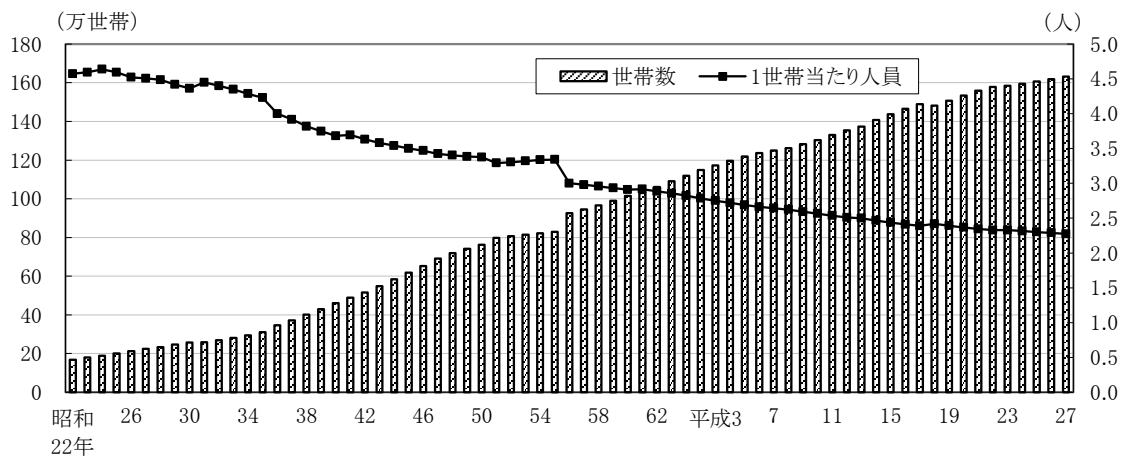
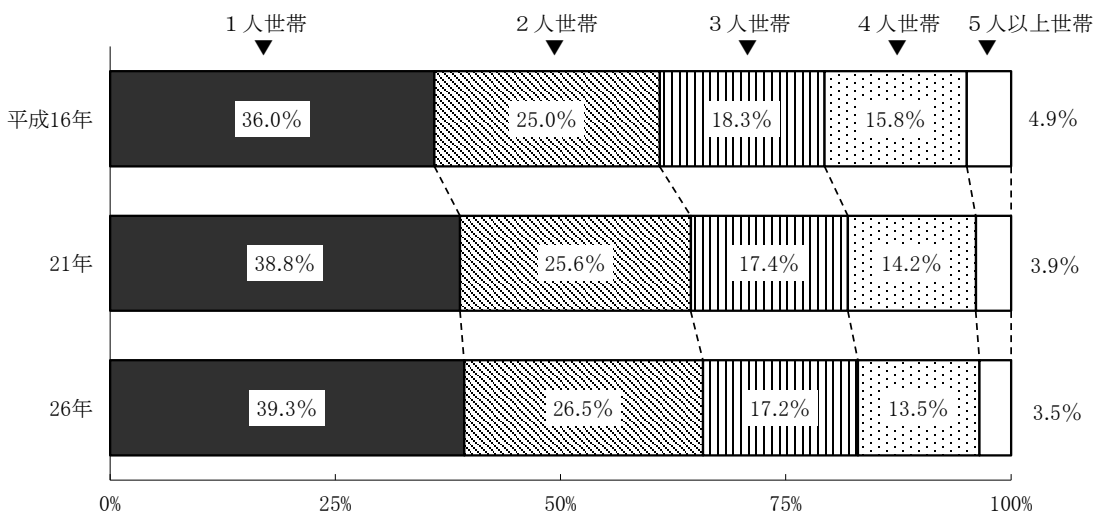


図1-6 世帯人員別世帯数の割合（平成16年、21年、26年）



注) 数値は各年9月30日現在の住民基本台帳人口及び外国人登録人口を集計したものである。

・世帯数の増加数が多い港北区、増加率が高い磯子区

世帯数の動きを行政区別にみると、平成26年中は全ての区で増加しています。

増加数では港北区が1,914世帯と最も多く、次いで神奈川区(1,427世帯)、鶴見区(1,306世帯)、磯子区(1,202世帯)の順になっています。

また、増加率をみると、磯子区(1.68%)が最も高く、次いで神奈川区(1.23%)、港北区(1.20%)、鶴見区(1.01%)の順になっています。この4区は人口増加率においても上位を占めています。

[図1-7、表1-3、統計表第19表]

図1-7 行政区別世帯数増加率

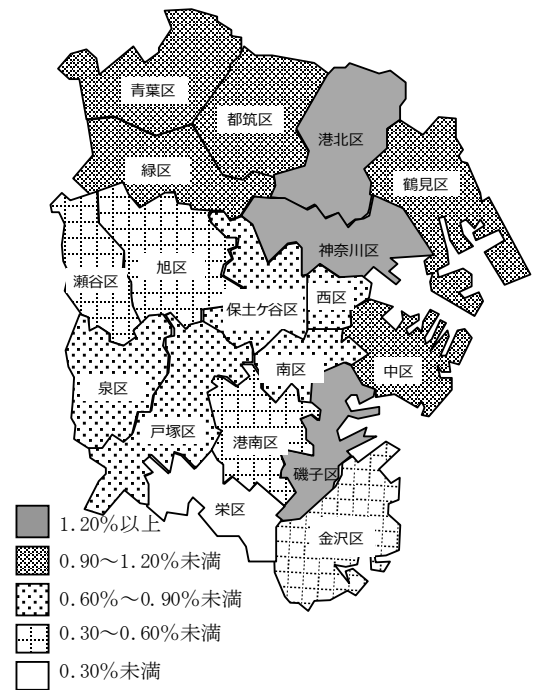


表1-3 行政区別世帯数及び世帯数の増減 (平成26年中)

行政区	世帯数 (1月1日現在)		平成26年中				
	平成26年	平成27年	転入等による増加	転出等による減少	増加数	増加率(%)	増加率順位
横浜市	1,618,734	1,632,699	141,737	127,772	13,965	0.86	-
鶴見区	129,427	130,733	12,085	10,779	1,306	1.01	4
神奈川区	115,777	117,204	12,002	10,575	1,427	1.23	2
西区	50,845	51,212	6,377	6,010	367	0.72	12
中区	76,886	77,587	9,850	9,149	701	0.91	7
南区	93,610	94,332	9,324	8,602	722	0.77	11
港南区	90,355	90,708	6,016	5,663	353	0.39	16
保土ヶ谷区	91,136	91,946	8,105	7,295	810	0.89	9
旭区	102,267	102,809	6,372	5,830	542	0.53	15
磯子区	71,704	72,906	6,314	5,112	1,202	1.68	1
金沢区	87,331	87,653	5,576	5,254	322	0.37	17
港北区	160,065	161,979	16,814	14,900	1,914	1.20	3
緑区	73,019	73,698	5,961	5,282	679	0.93	5
青葉区	123,700	124,818	10,569	9,451	1,118	0.90	8
都筑区	79,138	79,875	6,506	5,769	737	0.93	5
戸塚区	111,573	112,542	8,473	7,504	969	0.87	10
栄区	50,976	51,088	3,996	3,884	112	0.22	18
泉区	60,514	60,908	4,045	3,651	394	0.65	13
瀬谷区	50,411	50,701	3,352	3,062	290	0.58	14

2 社会動態

(1) 社会移動の状況

平成26年中の社会移動数は331,588人で、25年中に比べ8,187人の減少となっています。このうち、市内（行政区間）で移動した人は71,536人で、前年に比べ1,733人の減少となっています。

一方、市外からの転入は130,105人（前年比3,448人減）、市外への転出は129,947人（同3,006人減）で、差引158人（同442人減）の転入超過となっています。

また、移動率（各年の1月1日現在人口に対する割合）をみると、市内移動率は1.93%で前年比0.05ポイント、市外転入率は3.51%で前年比0.10ポイント、市外転出率は3.51%で前年比0.09ポイントの低下となっています。なお、全体の移動率は8.95%で、昭和22年以降で最も低い割合となっています。

市外転入をみると、昭和30年代後半から急激に増加し、44年に20万人を超え、46年に最大の228,455人を記録しました。そして、昭和46年をピークに減少し、55年、56年に15万人台となり、その後、小さく増加と減少を繰り返し、ほぼ同じ水準で推移していましたが、平成22年からは15万人を割り、さらに減少傾向にあります。また、転入超過数は、昭和45年に最大の66,374人となりました。

市外転出は、昭和48年の183,235人をピークに減少傾向となりましたが、60年から再び増加に転じ、平成5年から8年にかけては転入を上回り、昭和22年以来初めて転出超過となりました。その後は緩やかな減少傾向にあり、平成23年には再び転出超過となりましたが、24年以降転入超過に転じています。

市内移動（区間移動）は、昭和39年以降、7万人から9万人台で推移しています。

[図1-8、表1-4、統計表第3表]

図1-8 社会動態における転入・転出・市内移動の推移（昭和22年中～平成26年中）

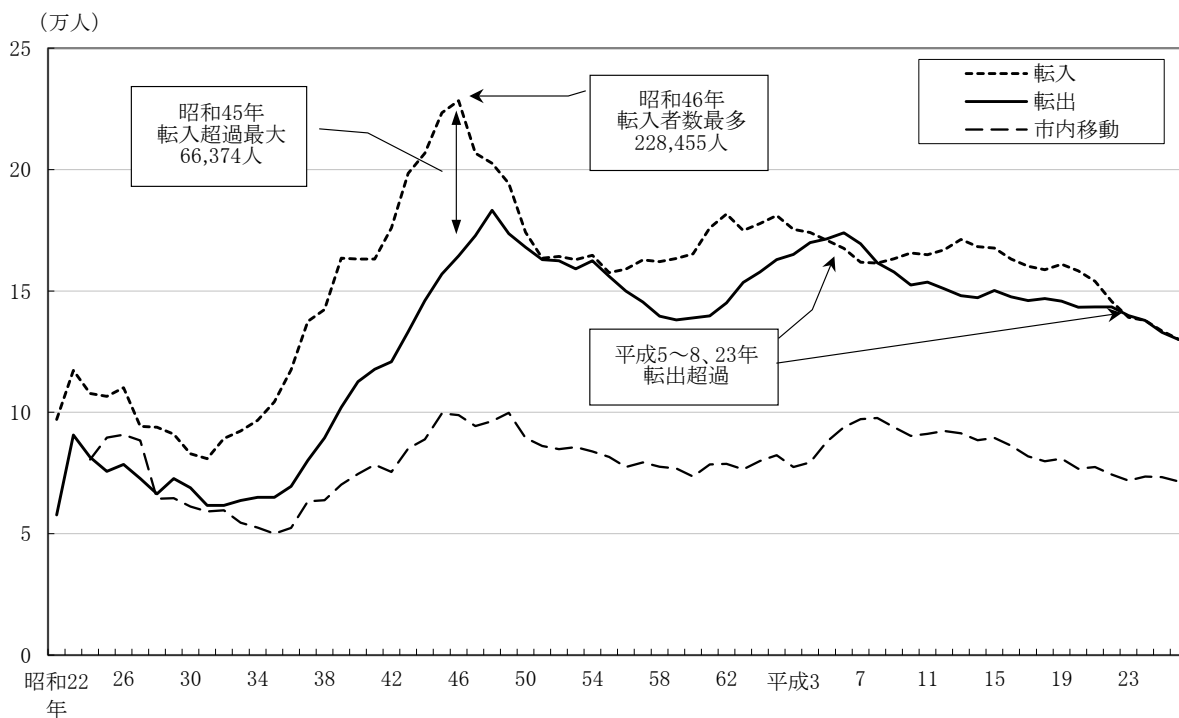


表1-4 社会移動の推移（昭和22年中～平成26年中）

年 中	社 会 移 動 数					移 動 率 (%)				
	移動総数	市 外 移 動			市内移動	移動率	市 外 移 動			市内移動率
		転入	転出	転入超過数			転入率	転出率	転入超過率	
昭和22	154,749	97,015	57,734	39,281	-	20.06	12.58	7.49	5.09	...
23	207,875	117,218	90,657	26,561	-	25.12	14.16	10.95	3.21	...
24	269,824	107,732	81,519	26,213	80,573	30.79	12.30	9.30	2.99	9.20
25	271,813	106,592	75,634	30,958	89,587	29.48	11.56	8.20	3.36	9.72
26	279,343	110,147	78,469	31,678	90,727	28.94	11.41	8.13	3.28	9.40
27	255,269	94,168	72,688	21,480	88,413	25.20	9.30	7.17	2.12	8.73
28	224,745	93,917	66,429	27,488	64,399	21.42	8.95	6.33	2.62	6.14
29	228,379	91,007	72,705	18,302	64,667	20.96	8.35	6.67	1.68	5.93
30	213,007	82,876	68,915	13,961	61,216	18.99	7.39	6.14	1.24	5.46
31	201,676	80,937	61,617	19,320	59,122	17.52	7.03	5.35	1.68	5.14
32	210,490	89,229	61,632	27,597	59,629	17.81	7.55	5.21	2.33	5.04
33	210,450	92,278	63,712	28,566	54,460	17.22	7.55	5.21	2.34	4.46
34	214,194	96,726	64,955	31,771	52,513	16.93	7.64	5.13	2.51	4.15
35	219,353	104,337	64,993	39,344	50,023	16.71	7.95	4.95	3.00	3.81
36	239,402	117,551	69,516	48,035	52,335	17.25	8.47	5.01	3.46	3.77
37	281,003	137,482	80,222	57,260	63,299	19.32	9.45	5.52	3.94	4.35
38	295,605	142,348	89,469	52,879	63,788	19.29	9.29	5.84	3.45	4.16
39	335,933	163,566	102,111	61,455	70,256	20.89	10.17	6.35	3.82	4.37
40	350,353	163,100	112,605	50,495	74,648	20.67	9.62	6.64	2.98	4.40
41	359,276	163,137	117,746	45,391	78,393	19.89	9.03	6.52	2.51	4.34
42	372,241	176,017	120,813	55,204	75,411	19.84	9.38	6.44	2.94	4.02
43	416,800	198,484	133,246	65,238	85,070	21.20	10.09	6.78	3.32	4.33
44	441,717	206,825	145,981	60,844	88,911	21.36	10.00	7.06	2.94	4.30
45	479,943	223,393	157,019	66,374	99,531	22.14	10.31	7.24	3.06	4.59
46	491,843	228,455	164,481	63,974	98,907	21.74	10.10	7.27	2.83	4.37
47	473,968	206,752	172,834	33,918	94,382	20.01	8.73	7.30	1.43	3.99
48	482,268	202,635	183,235	19,400	96,398	19.70	8.28	7.48	0.79	3.94
49	467,680	194,347	173,581	20,766	99,752	18.61	7.73	6.91	0.83	3.97
50	431,695	174,150	168,068	6,082	89,477	16.75	6.76	6.52	0.24	3.47
51	412,543	163,519	162,907	612	86,117	15.69	6.22	6.20	0.02	3.27
52	411,369	164,186	162,386	1,800	84,797	15.41	6.15	6.08	0.07	3.18
53	407,700	162,893	159,161	3,732	85,646	15.07	6.02	5.88	0.14	3.17
54	410,976	164,686	162,397	2,289	83,893	14.99	6.01	5.92	0.08	3.06
55	395,284	157,616	156,070	1,546	81,598	14.27	5.69	5.63	0.06	2.94
56	386,286	158,942	149,921	9,021	77,423	13.90	5.72	5.39	0.32	2.79
57	387,663	162,855	145,411	17,444	79,397	13.77	5.79	5.17	0.62	2.82
58	379,342	162,049	139,659	22,390	77,634	13.28	5.67	4.89	0.78	2.72
59	378,216	163,354	138,057	25,297	76,805	13.02	5.62	4.75	0.87	2.64
60	377,760	165,318	138,923	26,395	73,519	12.79	5.60	4.70	0.89	2.49
61	394,164	175,943	139,712	36,231	78,509	13.13	5.86	4.65	1.21	2.61
62	405,426	181,661	145,034	36,627	78,731	13.25	5.94	4.74	1.20	2.57
63	405,032	174,968	153,560	21,408	76,504	12.99	5.61	4.92	0.69	2.45
平成元	415,537	177,756	157,841	19,915	79,940	13.15	5.62	4.99	0.63	2.53
2	426,470	181,160	162,949	18,211	82,361	13.33	5.66	5.09	0.57	2.57
3	417,946	175,427	165,019	10,408	77,500	12.96	5.44	5.12	0.32	2.40
4	423,305	174,042	169,942	4,100	79,321	13.00	5.35	5.22	0.13	2.44
5	430,353	170,920	171,532	△ 612	87,901	13.13	5.22	5.24	△ 0.02	2.68
6	435,396	167,606	173,949	△ 6,343	93,841	13.23	5.09	5.28	△ 0.19	2.85
7	428,411	161,795	169,462	△ 7,667	97,154	12.97	4.90	5.13	△ 0.23	2.94
8	420,775	161,504	161,622	△ 118	97,649	12.72	4.88	4.88	△ 0.00	2.95

表 1-4 社会移動の推移 (昭和 22 年中～平成 26 年中) (続)

年 中	社 会 移 動 数					移 動 率 (%)				
	移動総数	市 外 移 動			市内移動	移動率	市 外 移 動			市内移動率
		転入	転出	転入超過数			転入率	転出率	転入超過率	
平成 9	414,952	163,280	157,828	5,452	93,844	12.48	4.91	4.75	0.16	2.82
10	408,378	165,655	152,481	13,174	90,242	12.21	4.95	4.56	0.39	2.70
11	409,710	164,918	153,616	11,302	91,176	12.15	4.89	4.55	0.34	2.70
12	410,125	166,939	150,866	16,073	92,320	12.07	4.91	4.44	0.47	2.72
13	410,694	171,197	148,076	23,121	91,421	11.96	4.99	4.31	0.67	2.66
14	403,992	168,252	147,176	21,076	88,564	11.65	4.85	4.24	0.61	2.55
15	407,330	167,648	150,193	17,455	89,489	11.63	4.79	4.29	0.50	2.55
16	396,962	163,112	147,542	15,570	86,308	11.24	4.62	4.18	0.44	2.44
17	388,030	160,213	146,020	14,193	81,797	10.90	4.50	4.10	0.40	2.30
18	385,426	158,738	146,852	11,886	79,836	10.75	4.43	4.10	0.33	2.23
19	387,783	161,065	145,772	15,293	80,946	10.75	4.47	4.04	0.42	2.24
20	378,353	158,311	143,248	15,063	76,794	10.42	4.36	3.94	0.41	2.11
21	374,733	153,945	143,369	10,576	77,419	10.25	4.21	3.92	0.29	2.12
22	363,577	145,701	143,460	2,241	74,416	9.90	3.97	3.91	0.06	2.03
23	350,867	139,112	139,905	△ 793	71,850	9.51	3.77	3.79	△ 0.02	1.95
24	349,111	137,848	137,784	64	73,479	9.46	3.73	3.73	0.00	1.99
25	339,775	133,553	132,953	600	73,269	9.19	3.61	3.60	0.02	1.98
26	331,588	130,105	129,947	158	71,536	8.95	3.51	3.51	0.00	1.93

注) 市内移動は転入の人数である。また、移動率の算出に用いた人口は各年 1 月 1 日現在人口である。

(2) 市外移動

・東京都区部への転出超過が目立つ

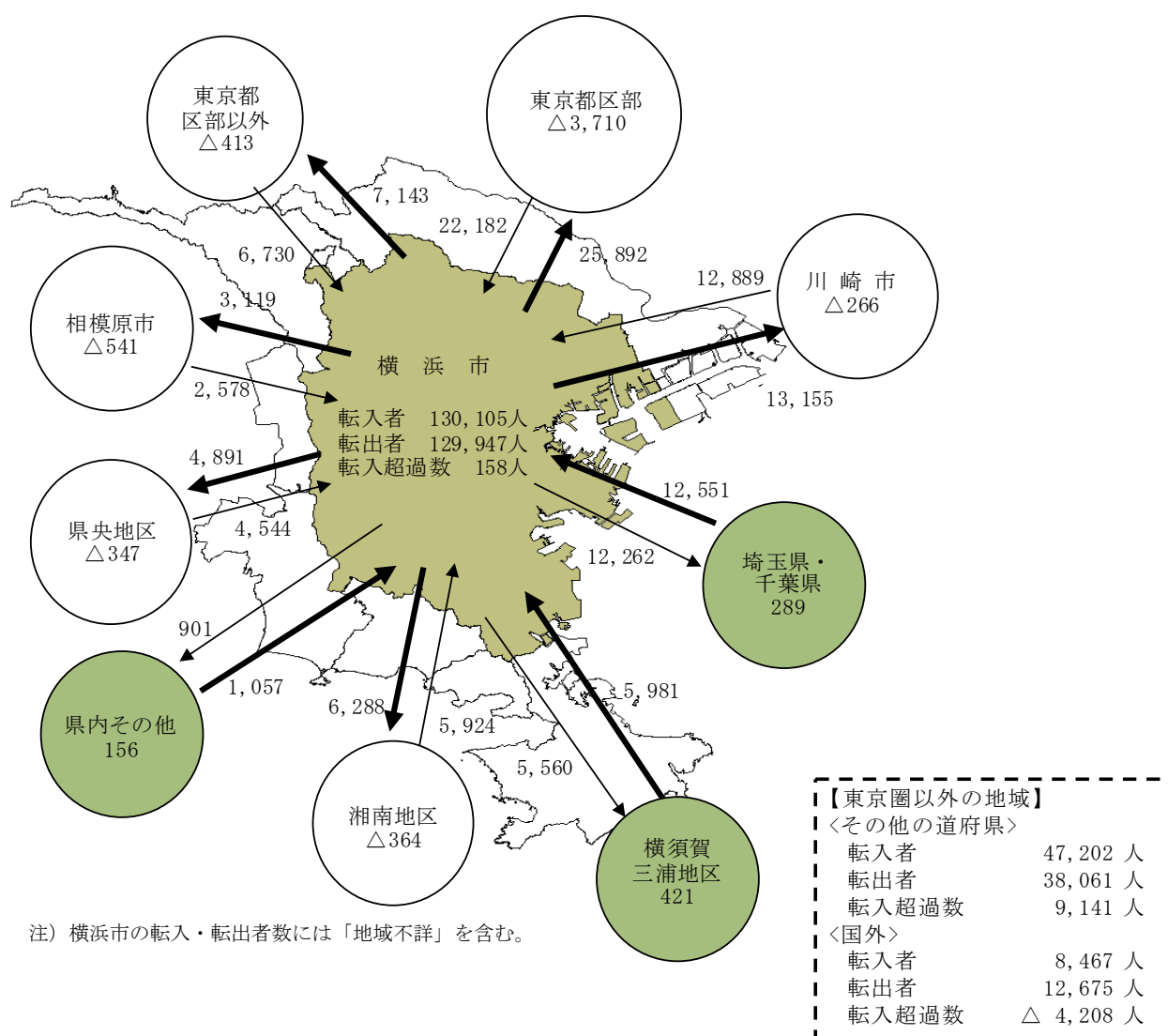
市外移動を移動前・移動後の住所地別にみると、都道府県別では転入・転出とも神奈川県、東京都、千葉県、埼玉県の順で、これら東京圏内だけで転入者の57.2% (74,436人)、転出者の61.0% (79,211人) を占めています。

横浜市の転入超過数 (158人) を地域別にみると、東京圏内では、横須賀三浦地区 (421人)、埼玉県・千葉県 (289人)、県内その他 (156人) の順となっていますが、それ以外の地域では、東京都区部 (転入超過数マイナス3,710人) をはじめ、相模原市 (同マイナス541人)、東京都区部以外 (同マイナス413人)、湘南地区 (同マイナス364人) など、転出超過となっています。

なお、東京圏以外の道府県は9,141人の転入超過、国外は4,208人の転出超過となっています。

[図1-9、図1-10、表1-5、表1-10、統計表第14表、第15表]

図1-9 東京圏内の地域別にみた転入・転出者数 (平成26年中)



注) 横浜市の転入・転出者数には「地域不詳」を含む。

図1-10 東京圏内各地域の転入超過数の推移（平成22年中～26年中）

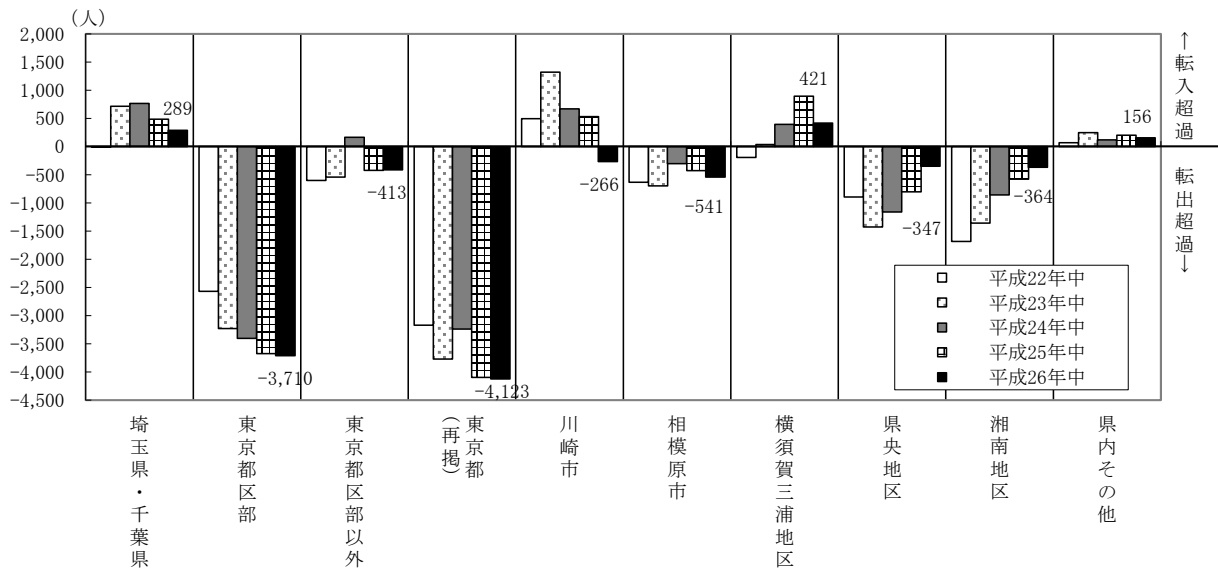


表1-5 移動前・移動後の住所地別転入・転出者数の順位（平成26年中）

都道府県		【転入】		【転入超過】		県内・東京都区部		【転入】		【転入超過】	
1	神奈川県	32,973		1	静岡県	856		1	川崎市	12,889	
2	東京都	28,912		2	兵庫県	769		2	大田区	3,958	
3	千葉県	6,625		3	大阪府	754		3	横須賀市	3,464	
4	埼玉県	5,926		4	北海道	537		4	世田谷区	2,862	
5	大阪府	4,285		5	愛知県	471		5	藤沢市	2,859	
6	愛知県	3,879		6	福岡県	422		6	相模原市	2,578	
7	静岡県	3,673		7	新潟県	353		7	大和市	1,886	
8	兵庫県	2,896		8	長野県	346		8	品川区	1,598	
9	北海道	2,867		9	青森県	341		9	鎌倉市	1,589	
10	福岡県	2,675		10	京都府	288		10	目黒区	1,343	

都道府県		【転出】		【転出超過】		県内・東京都区部		【転出】		【転出超過】	
1	神奈川県	33,914		1	東京都	4,123		1	川崎市	13,155	
2	東京都	33,035		2	神奈川県	941		2	大田区	3,852	
3	千葉県	6,421		3	栃木県	48		3	藤沢市	3,267	
4	埼玉県	5,841		4	島根県	11		4	世田谷区	3,134	
5	大阪府	3,531						5	相模原市	3,119	
6	愛知県	3,408						6	横須賀市	2,858	
7	静岡県	2,817						7	大和市	2,276	
8	北海道	2,330						8	品川区	2,135	
9	福岡県	2,253						9	鎌倉市	1,707	
10	兵庫県	2,127						10	目黒区	1,620	

注) 神奈川県には、横浜市内の移動は含まない。

(3) 市内移動

・隣接区への移動が56.3%

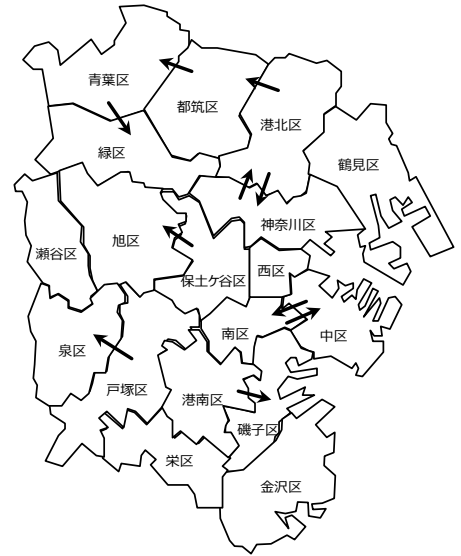
市内移動（区間移動）の71,536人を移動前・移動後の住所地別にみると、隣接区への移動が40,279人と全体の半数以上を占めています。行政区別に移動数をみると、図1-11の区間において移動数が多くなっています。

また、市内移動（区間移動）による転入超過数をみると、磯子区（1,325人）及び緑区（672人）で多くなっており、特に、図1-12の区間において差が大きくなっています。

〔図1-11、図1-12、

表1-6、統計表第15表〕

図1-11 区間移動数（平成26年中）



転入者数(上位10区)		
【転出側】	【転入側】	
中区	⇒ 南区	1,286
港北区	⇒ 神奈川区	1,189
神奈川区	⇒ 港北区	1,160
南区	⇒ 中区	1,106
港北区	⇒ 都筑区	1,037
都筑区	⇒ 青葉区	960
保土ヶ谷区	⇒ 旭区	868
戸塚区	⇒ 泉区	858
港南区	⇒ 磯子区	831
青葉区	⇒ 緑区	820

表1-6 移動前・移動後の住所地別市内（区間）移動者数（平成26年中）

移動前の住所地	総数	移動後の住所地								
		鶴見区	神奈川区	西区	中区	南区	港南区	保土ヶ谷区	旭区	
総数	71,536	3,682	5,850	3,262	4,750	5,450	4,213	4,932	4,518	
鶴見区	3,681	-	674	156	258	190	106	207	177	
神奈川区	5,905	696	-	478	457	337	172	681	288	
西区	3,468	136	536	-	513	401	110	580	174	
中区	4,718	204	413	428	-	1,286	243	247	168	
南区	5,712	234	367	344	1,106	-	807	452	165	
港南区	4,598	152	225	145	242	769	-	203	142	
保土ヶ谷区	4,762	209	573	453	268	412	171	-	868	
旭区	4,178	187	305	188	148	133	127	687	-	
磯子区	3,771	183	183	151	480	497	704	161	104	
金沢区	2,865	150	184	125	188	276	333	101	87	
港北区	6,240	738	1,189	219	292	208	149	293	299	
緑区	3,077	124	282	56	98	76	68	134	401	
青葉区	3,016	121	137	59	91	65	79	112	162	
都筑区	3,671	139	251	76	111	90	67	120	161	
戸塚区	4,628	170	234	187	212	333	498	476	270	
栄区	2,494	97	103	58	123	190	390	124	104	
泉区	2,660	72	99	69	102	100	142	175	377	
瀬谷区	2,092	70	95	70	61	87	47	179	571	
移動前の住所地	総数	転入超過数								
		鶴見区	神奈川区	西区	中区	南区	港南区	保土ヶ谷区	旭区	
総数	-	1	△ 55	△ 206	32	△ 262	△ 385	170	340	
鶴見区	△ 1	-	△ 22	20	54	△ 44	△ 46	△ 2	△ 10	
神奈川区	55	22	-	△ 58	44	△ 30	△ 53	108	△ 17	
西区	206	△ 20	58	-	85	57	△ 35	127	△ 14	
中区	△ 32	△ 54	△ 44	△ 85	-	180	1	△ 21	20	
南区	262	44	30	△ 57	△ 180	-	38	40	32	
港南区	385	46	53	35	△ 1	△ 38	-	32	15	
保土ヶ谷区	△ 170	2	△ 108	△ 127	21	△ 40	△ 32	-	181	
旭区	△ 340	10	17	14	△ 20	△ 32	△ 15	△ 181	-	
磯子区	△ 1,325	1	△ 115	△ 60	△ 197	△ 188	△ 127	△ 46	△ 23	
金沢区	455	59	49	44	17	△ 35	△ 12	9	△ 3	
港北区	841	△ 48	29	12	62	△ 22	△ 20	43	59	
緑区	△ 672	△ 37	△ 25	△ 20	25	5	△ 11	△ 22	30	
青葉区	△ 41	18	12	9	29	△ 8	9	27	△ 4	
都筑区	321	△ 19	23	△ 1	40	△ 8	△ 13	40	56	
戸塚区	△ 35	△ 36	△ 9	36	6	△ 79	△ 55	△ 1	52	
栄区	493	32	16	9	23	60	△ 2	54	37	
泉区	△ 179	△ 2	1	2	16	△ 15	-	1	3	
瀬谷区	△ 223	△ 17	△ 20	21	8	△ 25	△ 12	△ 38	△ 74	

注) 各区間の移動者数は、移動後の住所地からみた転入者数である。

図1-12 区間移動の転入超過数（平成26年中）

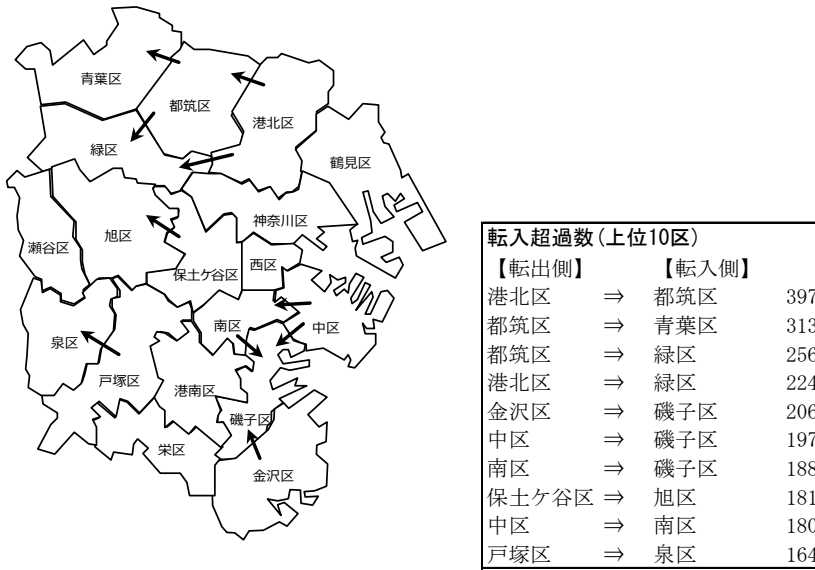


表1-6

移動後の住所地											移動前の住所地
磯子区	金沢区	港北区	緑区	青葉区	都筑区	戸塚区	栄区	泉区	瀬谷区		
5,096	2,410	5,399	3,749	3,057	3,350	4,663	2,001	2,839	2,315		総数
182	91	786	161	103	158	206	65	74	87		鶴見区
298	135	1,160	307	125	228	243	87	98	115		神奈川区
211	81	207	76	50	77	151	49	67	49		西区
677	171	230	73	62	71	206	100	86	53		中区
685	311	230	71	73	98	412	130	115	112		南区
831	345	169	79	70	80	553	392	142	59		港南区
207	92	250	156	85	80	477	70	174	217		保土ヶ谷区
127	90	240	371	166	105	218	67	374	645		旭区
-	505	128	63	46	57	192	195	75	47		磯子区
711	-	187	59	50	59	145	122	55	33		金沢区
232	111	-	584	384	1,037	238	82	107	78		港北区
78	35	360	-	677	423	67	45	44	109		緑区
79	52	331	820	-	647	95	33	62	71		青葉区
101	38	640	679	960	-	107	21	51	59		都筑区
264	123	172	99	62	75	-	428	858	167		戸塚区
257	152	88	28	51	56	507	-	112	54		栄区
102	41	108	42	43	48	694	86	-	360		泉区
54	37	113	81	50	51	152	29	345	-		瀬谷区
転入超過数											移動前の住所地
磯子区	金沢区	港北区	緑区	青葉区	都筑区	戸塚区	栄区	泉区	瀬谷区		
1,325	△ 455	△ 841	672	41	△ 321	35	△ 493	179	223		総数
△ 1	△ 59	48	37	△ 18	19	36	△ 32	2	17		鶴見区
115	△ 49	△ 29	25	△ 12	△ 23	9	△ 16	△ 1	20		神奈川区
60	△ 44	△ 12	20	△ 9	1	△ 36	△ 9	△ 2	△ 21		西区
197	△ 17	△ 62	△ 25	△ 29	△ 40	△ 6	△ 23	△ 16	△ 8		中区
188	35	22	△ 5	8	8	79	△ 60	15	25		南区
127	12	20	11	△ 9	13	55	2	-	12		港南区
46	△ 9	△ 43	22	△ 27	△ 40	1	△ 54	△ 1	38		保土ヶ谷区
23	3	△ 59	△ 30	4	△ 56	△ 52	△ 37	△ 3	74		旭区
-	△ 206	△ 104	△ 15	△ 33	△ 44	△ 72	△ 62	△ 27	△ 7		磯子区
206	-	76	24	△ 2	21	22	△ 30	14	△ 4		金沢区
104	△ 76	-	224	53	397	66	△ 6	△ 1	△ 35		港北区
15	△ 24	△ 224	-	△ 143	△ 256	△ 32	17	2	28		緑区
33	2	△ 53	143	-	△ 313	33	△ 18	19	21		青葉区
44	△ 21	△ 397	256	313	-	32	△ 35	3	8		都筑区
72	△ 22	△ 66	32	△ 33	△ 32	-	△ 79	164	15		戸塚区
62	30	6	△ 17	18	35	79	-	26	25		栄区
27	△ 14	1	△ 2	△ 19	△ 3	△ 164	△ 26	-	15		泉区
7	4	35	△ 28	△ 21	△ 8	△ 15	△ 25	△ 15	-		瀬谷区

(4) 年齢別、男女別社会移動

・移動が多い20～30歳代

社会移動数を年齢別にみると、市外からの転入では「25～29歳」が25,260人（転入者の19.4%）と最も多く、次いで「30～34歳」が20,554人（同15.8%）、「20～24歳」が18,633人（同14.3%）、「35～39歳」が14,210人（同10.9%）となっており、20～30歳代で全体の約6割を占めています。

また、市外への転出及び市内移動についてもほぼ同じ傾向で、20～30歳代の社会移動が顕著であることが分かります。

平成16年中、21年中及び26年中の年齢別転入超過数を見ると、各年ともに「20～24歳」が最も高く、以降「60～64歳」まで減少傾向となっています。平成26年中は、転入超過は「15～19歳」と「20～24歳」のみで、他の年齢区分では転出超過となっています。

男女別では、市外移動、市内移動ともに男の移動割合が高くなっています。

[図1-13、図1-14、図1-15、表1-7]

表1-7 年齢、男女別社会移動数（平成26年中）

男女、年齢	社会移動数					割合(%)				
	総移動数	市外移動			市内移動	総移動数	市外移動		市内移動	
		転入	転出	転入超過数			転入	転出		
総数	331,588	130,105	129,947	158	71,536	100.0	100.0	100.0	100.0	
0～14歳	37,427	13,884	15,243	△ 1,359	8,300	11.3	10.7	11.7	11.6	
15～19歳	9,714	4,617	2,849	1,768	2,248	2.9	3.5	2.2	3.1	
20～24歳	40,376	18,633	15,267	3,366	6,476	12.2	14.3	11.7	9.1	
25～29歳	63,080	25,260	25,309	△ 49	12,511	19.0	19.4	19.5	17.5	
30～34歳	53,215	20,554	21,270	△ 716	11,391	16.0	15.8	16.4	15.9	
35～39歳	36,612	14,210	14,482	△ 272	7,920	11.0	10.9	11.1	11.1	
40～44歳	26,619	10,130	10,704	△ 574	5,785	8.0	7.8	8.2	8.1	
45～49歳	17,436	6,563	7,009	△ 446	3,864	5.3	5.0	5.4	5.4	
50～54歳	11,988	4,441	4,744	△ 303	2,803	3.6	3.4	3.7	3.9	
55～59歳	8,596	2,976	3,556	△ 580	2,064	2.6	2.3	2.7	2.9	
60～64歳	7,225	2,335	2,999	△ 664	1,891	2.2	1.8	2.3	2.6	
65歳以上	19,300	6,502	6,515	△ 13	6,283	5.8	5.0	5.0	8.8	
総数	178,508	70,418	71,288	△ 870	36,802	53.8	54.1	54.9	51.4	
0～14歳	19,065	7,049	7,758	△ 709	4,258	5.7	5.4	6.0	6.0	
15～19歳	5,313	2,654	1,591	1,063	1,068	1.6	2.0	1.2	1.5	
20～24歳	21,745	10,066	8,580	1,486	3,099	6.6	7.7	6.6	4.3	
25～29歳	33,590	13,651	13,715	△ 64	6,224	10.1	10.5	10.6	8.7	
30～34歳	28,027	10,806	11,220	△ 414	6,001	8.5	8.3	8.6	8.4	
35～39歳	19,998	7,646	7,967	△ 321	4,385	6.0	5.9	6.1	6.1	
40～44歳	15,208	5,782	6,160	△ 378	3,266	4.6	4.4	4.7	4.6	
45～49歳	10,453	4,009	4,330	△ 321	2,114	3.2	3.1	3.3	3.0	
50～54歳	7,297	2,765	3,010	△ 245	1,522	2.2	2.1	2.3	2.1	
55～59歳	5,173	1,893	2,142	△ 249	1,138	1.6	1.5	1.6	1.6	
60～64歳	4,385	1,440	1,850	△ 410	1,095	1.3	1.1	1.4	1.5	
65歳以上	8,254	2,657	2,965	△ 308	2,632	2.5	2.0	2.3	3.7	
総数	153,080	59,687	58,659	1,028	34,734	46.2	45.9	45.1	48.6	
0～14歳	18,362	6,835	7,485	△ 650	4,042	5.5	5.3	5.8	5.7	
15～19歳	4,401	1,963	1,258	705	1,180	1.3	1.5	1.0	1.6	
20～24歳	18,631	8,567	6,687	1,880	3,377	5.6	6.6	5.1	4.7	
25～29歳	29,490	11,609	11,594	15	6,287	8.9	8.9	8.9	8.8	
30～34歳	25,188	9,748	10,050	△ 302	5,390	7.6	7.5	7.7	7.5	
35～39歳	16,614	6,564	6,515	49	3,535	5.0	5.0	5.0	4.9	
40～44歳	11,411	4,348	4,544	△ 196	2,519	3.4	3.3	3.5	3.5	
45～49歳	6,983	2,554	2,679	△ 125	1,750	2.1	2.0	2.1	2.4	
50～54歳	4,691	1,676	1,734	△ 58	1,281	1.4	1.3	1.3	1.8	
55～59歳	3,423	1,083	1,414	△ 331	926	1.0	0.8	1.1	1.3	
60～64歳	2,840	895	1,149	△ 254	796	0.9	0.7	0.9	1.1	
65歳以上	11,046	3,845	3,550	295	3,651	3.3	3.0	2.7	5.1	

図1-13 年齢別社会移動数（平成26年中）

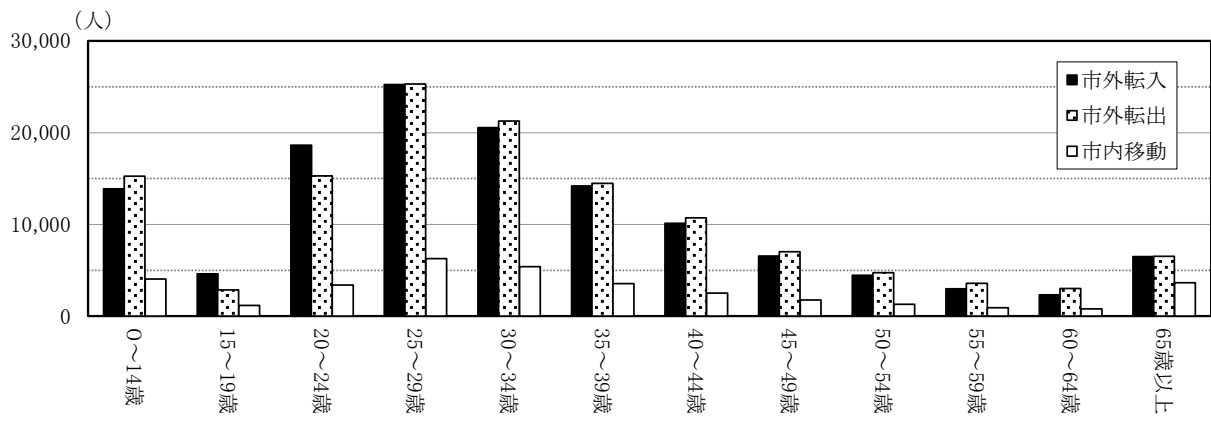


図1-14 年齢別転入超過数（平成16年中、21年中、26年中）

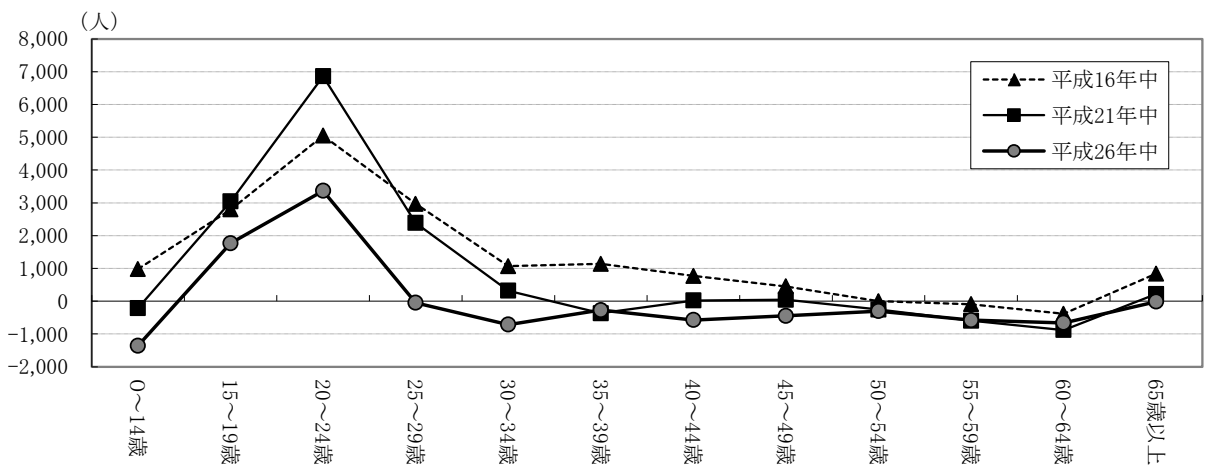
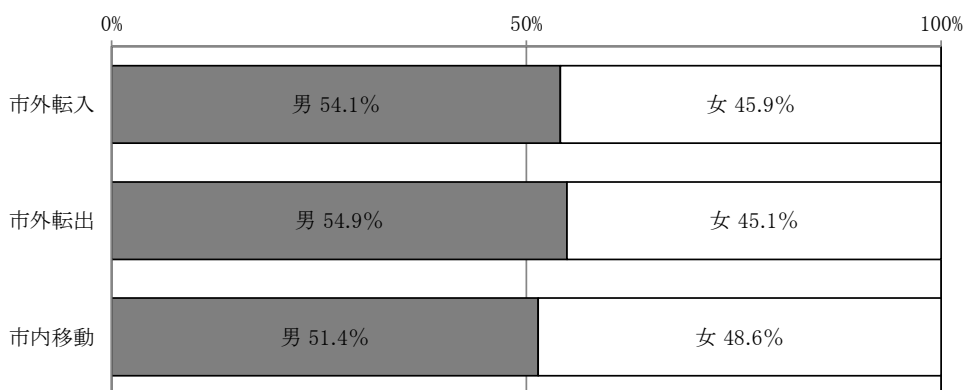


図1-15 社会移動数の男女別割合（平成26年中）



3 自然動態

・自然増加数は引き続き減少傾向

自然動態をみると、出生は30,780人（前年比27人増）、死亡は30,167人（同949人増）で、自然増加数は613人（同922人減）となっており、減少傾向が続いています。

自然動態の推移を人口1,000人当たりの比率でみると、出生率は終戦直後の第1次ベビーブーム後の急激な低下から昭和30年代後半になると上昇に転じ、第2次ベビーブームの昭和47年には22.62まで上昇しました。その後は緩やかな低下傾向にあり、平成13年には10.0を割り込み、26年には過去最低の8.31となりました。

一方、死亡率は昭和50年代から緩やかな上昇傾向にあり、平成26年は前年の7.90より0.25ポイント高い8.15となっています。

このような推移から、出生率と死亡率との差は縮小してきており、自然増加率は前年の0.42より0.25ポイント低い0.17となりました。

[図1-16、表1-8、統計表第3表]

図1-16 出生率、死亡率、自然増加率の推移（昭和22年中～平成26年中）

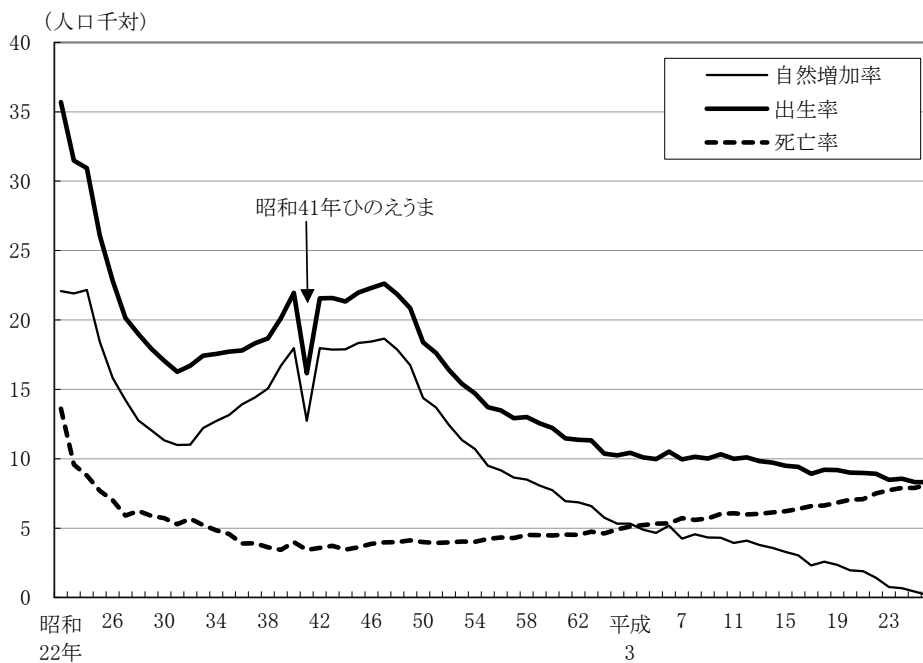


表1-8 自然動態の推移（昭和22年中～平成26年中）

年 中	自 然 動 態			比 率（人口千対）		
	自然増加数	出 生	死 亡	自然増加率	出 生 率	死 亡 率
昭和22	17,031	27,529	10,498	22.08	35.69	13.61
23	18,136	26,058	7,922	21.91	31.49	9.57
24	19,417	27,116	7,699	22.16	30.95	8.79
25	16,980	24,063	7,083	18.41	26.09	7.68
26	15,253	22,008	6,755	15.80	22.80	7.00
27	14,414	20,400	5,986	14.23	20.14	5.91
28	13,379	19,922	6,543	12.75	18.99	6.24
29	13,119	19,537	6,418	12.04	17.93	5.89
30	12,706	19,118	6,412	11.33	17.05	5.72
31	12,641	18,717	6,076	10.98	16.26	5.28
32	13,025	19,736	6,711	11.02	16.70	5.68
33	14,936	21,303	6,367	12.22	17.43	5.21
34	16,094	22,220	6,126	12.72	17.56	4.84
35	17,272	23,272	6,000	13.16	17.73	4.57
36	19,306	24,710	5,404	13.91	17.80	3.89

表 1-8 自然動態の推移 (昭和22年中～平成26年中) (続)

年 中	自 然 動 態			比 率 (人口千対)		
	自然増加数	出 生	死 亡	自然増加率	出 生 率	死 亡 率
昭和37	20,973	26,647	5,674	14.42	18.32	3.90
38	23,080	28,617	5,537	15.06	18.68	3.61
39	26,857	32,374	5,517	16.70	20.13	3.43
40	30,444	37,213	6,769	17.96	21.95	3.99
41	23,012	29,197	6,185	12.74	16.16	3.42
42	33,704	40,433	6,729	17.96	21.55	3.59
43	35,124	42,433	7,309	17.86	21.58	3.72
44	36,980	44,114	7,134	17.88	21.33	3.45
45	39,755	47,622	7,867	18.34	21.97	3.63
46	41,749	50,490	8,741	18.45	22.31	3.86
47	44,176	53,562	9,386	18.65	22.62	3.96
48	43,745	53,504	9,759	17.87	21.85	3.99
49	42,072	52,394	10,322	16.74	20.85	4.11
50	37,045	47,353	10,308	14.38	18.38	4.00
51	36,003	46,322	10,319	13.69	17.62	3.92
52	33,151	43,758	10,607	12.42	16.40	3.97
53	30,695	41,625	10,930	11.35	15.39	4.04
54	29,323	40,306	10,983	10.70	14.71	4.01
55	26,294	37,977	11,683	9.49	13.71	4.22
56	25,470	37,493	12,023	9.16	13.49	4.33
57	24,339	36,381	12,042	8.65	12.93	4.28
58	24,264	37,179	12,915	8.49	13.01	4.52
59	23,433	36,466	13,033	8.07	12.56	4.49
60	22,838	36,063	13,225	7.73	12.21	4.48
61	20,865	34,461	13,596	6.95	11.48	4.53
62	20,971	34,773	13,802	6.85	11.36	4.51
63	20,567	35,321	14,754	6.60	11.33	4.73
平成元	18,178	32,774	14,596	5.75	10.37	4.62
2	17,018	32,746	15,728	5.32	10.24	4.92
3	17,161	33,651	16,490	5.32	10.43	5.11
4	15,883	32,896	17,013	4.88	10.10	5.23
5	15,227	32,692	17,465	4.65	9.98	5.33
6	17,060	34,617	17,557	5.18	10.52	5.33
7	14,036	32,899	18,863	4.25	9.96	5.71
8	15,080	33,567	18,487	4.56	10.14	5.59
9	14,350	33,273	18,923	4.32	10.01	5.69
10	14,392	34,547	20,155	4.30	10.33	6.03
11	13,232	33,676	20,444	3.92	9.98	6.06
12	13,932	34,295	20,363	4.10	10.09	5.99
13	13,029	33,722	20,693	3.80	9.82	6.03
14	12,406	33,699	21,293	3.58	9.71	6.14
15	11,523	33,271	21,748	3.29	9.50	6.21
16	10,727	33,238	22,511	3.04	9.41	6.37
17	8,244	31,722	23,478	2.32	8.91	6.60
18	9,246	33,023	23,777	2.58	9.21	6.63
19	8,488	33,122	24,634	2.35	9.18	6.83
20	7,142	32,694	25,552	1.97	9.00	7.04
21	6,922	32,816	25,894	1.89	8.98	7.09
22	5,174	32,747	27,573	1.41	8.92	7.51
23	2,808	31,296	28,488	0.76	8.48	7.72
24	2,460	31,623	29,163	0.67	8.57	7.90
25	1,535	30,753	29,218	0.42	8.32	7.90
26	613	30,780	30,167	0.17	8.31	8.15

注) 比率に用いた人口については、各年1月1日現在人口である。

4 行政区の人口動態

・社会増加数が最も多い磯子区

平成26年中の各区の人口動態を社会動態と自然動態に区分してみると、社会増加数がプラスとなったのは磯子区(2,213人)、港北区(1,380人)、鶴見区(1,286人)など12区となっています。

また、自然増加数がプラスとなったのは港北区(1,384人)、都筑区(979人)、青葉区(859人)など8区となっています。

社会増加率及び自然増加率^(注)で見ると、社会増加率は磯子区が最も高く、自然増加率は都筑区が最も高くなっています。

さらに市外転入・転出数における移動前・移動後の住所地別にみると、東京圏内では東京都区部が多く、東京圏内他地域を行政区別にみると、川崎市との移動では鶴見区、港北区、青葉区、横須賀三浦地区との移動では金沢区、湘南地区との移動では戸塚区などが多くなっています。

東京圏外との移動割合は市全体で3割程度、国外の移動割合は、市全体で1割程度となっています。

[図1-17、表1-9、表1-10、統計表第5表、第14表、第15表]

(注) 社会増加率 = 社会増加数 ÷ 平成26年1月1日現在総人口 × 100

自然増加率 = 自然増加数 ÷ 平成26年1月1日現在総人口 × 100

表1-9 行政区別の人口動態(平成26年中)

行政区	人口増加数	社会動態						自然動態		
		社会増加数	市外移動		市内(区間)移動		その他増減	自然増加数	出生	死亡
			転入	転出	転入	転出				
横浜市	8,192	7,579	130,105	129,947	71,536	71,475	7,360	613	30,780	30,167
鶴見区	1,850	1,286	12,200	11,441	3,682	3,677	522	564	2,839	2,275
神奈川区	1,405	1,249	9,857	9,012	5,850	5,903	457	156	2,110	1,954
西区	460	360	4,530	4,571	3,262	3,464	603	100	918	818
中区	535	994	6,722	6,946	4,750	4,710	1,178	△ 459	1,101	1,560
南区	△ 30	717	5,982	5,692	5,450	5,697	674	△ 747	1,374	2,121
港南区	△ 1,067	△ 783	5,104	5,694	4,213	4,595	189	△ 284	1,531	1,815
保土ヶ谷区	484	895	6,341	6,061	4,932	4,759	442	△ 411	1,394	1,805
旭区	△ 653	△ 64	5,229	5,704	4,518	4,175	68	△ 589	1,721	2,310
磯子区	1,893	2,213	5,063	4,403	5,096	3,769	226	△ 320	1,230	1,550
金沢区	△ 1,216	△ 775	5,661	6,246	2,410	2,863	263	△ 441	1,374	1,815
港北区	2,764	1,380	17,268	15,884	5,399	6,235	832	1,384	3,646	2,262
緑区	730	626	5,848	6,150	3,749	3,077	256	104	1,483	1,379
青葉区	1,036	177	13,777	14,429	3,057	3,016	788	859	2,677	1,818
都筑区	1,125	146	8,039	7,808	3,350	3,670	235	979	2,057	1,078
戸塚区	446	247	8,158	8,332	4,663	4,625	383	199	2,290	2,091
栄区	△ 890	△ 787	3,818	4,174	2,001	2,490	58	△ 103	889	992
泉区	△ 407	△ 278	3,493	4,068	2,839	2,659	117	△ 129	1,177	1,306
瀬谷区	△ 273	△ 24	3,015	3,332	2,315	2,091	69	△ 249	969	1,218

図1-17 行政区別の社会増加率及び自然増加率の分布（平成26年中）

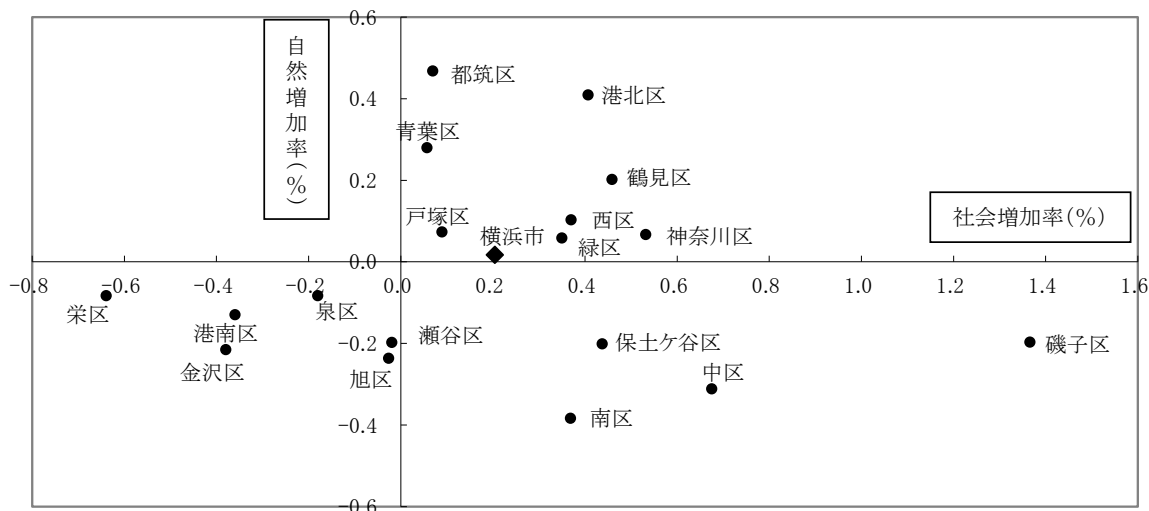


表1-10 行政区別の市外転入・転出数（平成26年中）

行政区	総数	東京圏内の地域									東京圏外	
		川崎市	相模原市	横須賀三浦地区	県央地区	湘南地区	県内その他	東京都区部	東京都区部以外	埼玉県千葉県	他の ¹⁾ 都道府県	国外
横浜市	130,105	12,889	2,578	5,981	4,544	5,924	1,057	22,182	6,730	12,551	47,202	8,467
鶴見区	12,200	2,101	163	235	215	313	82	2,701	503	1,329	4,043	515
神奈川区	9,857	944	197	317	246	384	79	1,921	501	974	3,834	460
西区	4,530	309	84	226	157	223	35	1,002	234	453	1,564	243
中区	6,722	475	118	317	167	293	51	1,514	287	733	2,257	510
南区	5,982	417	110	449	155	269	59	1,059	291	634	2,221	318
港南区	5,104	293	79	505	150	302	25	654	248	507	2,027	314
保土ヶ谷区	6,341	446	97	291	310	371	66	988	319	644	2,420	389
旭区	5,229	418	168	165	466	356	52	617	235	522	1,750	480
磯子区	5,063	386	86	482	181	295	62	762	217	558	1,730	304
金沢区	5,661	258	77	1,081	99	191	32	634	192	456	2,214	427
港北区	17,268	2,078	255	338	301	464	122	3,823	978	1,662	6,299	948
緑区	5,848	566	308	86	286	162	41	848	524	562	2,135	330
青葉区	13,777	2,127	261	122	371	284	60	2,549	971	1,037	4,697	1,298
都筑区	8,039	1,009	143	109	143	176	43	1,028	401	699	3,678	610
戸塚区	8,158	503	135	494	210	789	110	1,053	325	853	3,052	634
栄区	3,818	205	84	526	144	431	77	372	186	343	1,204	246
泉区	3,493	171	94	162	338	433	28	369	157	300	1,143	298
瀬谷区	3,015	183	119	76	605	188	33	288	161	285	934	143
横浜市	129,947	13,155	3,119	5,560	4,891	6,288	901	25,892	7,143	12,262	38,061	12,675
鶴見区	11,441	2,299	153	255	203	294	48	2,430	489	1,275	3,043	952
神奈川区	9,012	847	200	267	245	338	67	2,150	432	975	2,787	704
西区	4,571	345	79	187	141	197	20	1,206	184	378	1,213	621
中区	6,946	493	97	257	114	244	47	1,713	237	618	1,784	1,342
南区	5,692	446	134	357	174	266	61	1,166	246	549	1,574	719
港南区	5,694	362	117	516	158	385	48	899	269	592	1,922	426
保土ヶ谷区	6,061	519	118	253	298	318	48	1,176	303	611	1,837	580
旭区	5,704	418	185	168	540	342	55	930	381	576	1,569	540
磯子区	4,403	281	83	379	123	249	50	771	201	478	1,335	453
金沢区	6,246	372	82	954	124	289	48	1,072	245	565	2,002	493
港北区	15,884	1,965	326	315	260	412	60	4,009	790	1,466	4,829	1,452
緑区	6,150	528	441	92	295	179	27	925	721	605	1,864	473
青葉区	14,429	2,056	439	155	427	299	73	3,093	1,276	1,044	4,041	1,526
都筑区	7,808	915	189	122	159	202	30	1,297	483	752	2,890	769
戸塚区	8,332	623	121	463	277	916	59	1,475	312	785	2,501	800
栄区	4,174	270	120	601	144	565	84	588	221	331	1,005	245
泉区	4,068	239	80	151	447	525	48	591	165	376	1,078	368
瀬谷区	3,332	177	155	68	762	268	28	401	188	286	787	212

注1) 「他の都道府県」には地域不詳を含む。

5 大都市の人口動態

・社会増加率は第11位、自然増加率は第9位

大都市（政令指定都市及び東京都区部）の平成26年中の人口動態をみると、人口増加率は東京都区部が0.95%と最も高く、次いで川崎市（0.81%）、福岡市（0.79%）となっており、横浜市（0.22%）は第10位となっています。また、新潟市、静岡市、浜松市、京都市、堺市、神戸市及び北九州市の7市では人口が減少しています。

横浜市について、社会増加率と自然増加率をみると、社会増加率が0.20%、自然増加率が0.02%で、それぞれ第11位、第9位となっています。

大都市について、社会増加数と自然増加数をみると、ともにマイナスとなったのが新潟市、静岡市、浜松市、堺市、神戸市及び北九州市、自然増加数だけがマイナスとなったのが札幌市、千葉市、名古屋市、京都市及び大阪市で、横浜市を含む他の10都市では、社会増加数、自然増加数ともにプラスとなっています。

[図1-18、表1-11]

図1-18 大都市の人口増加の状況（平成26年中）

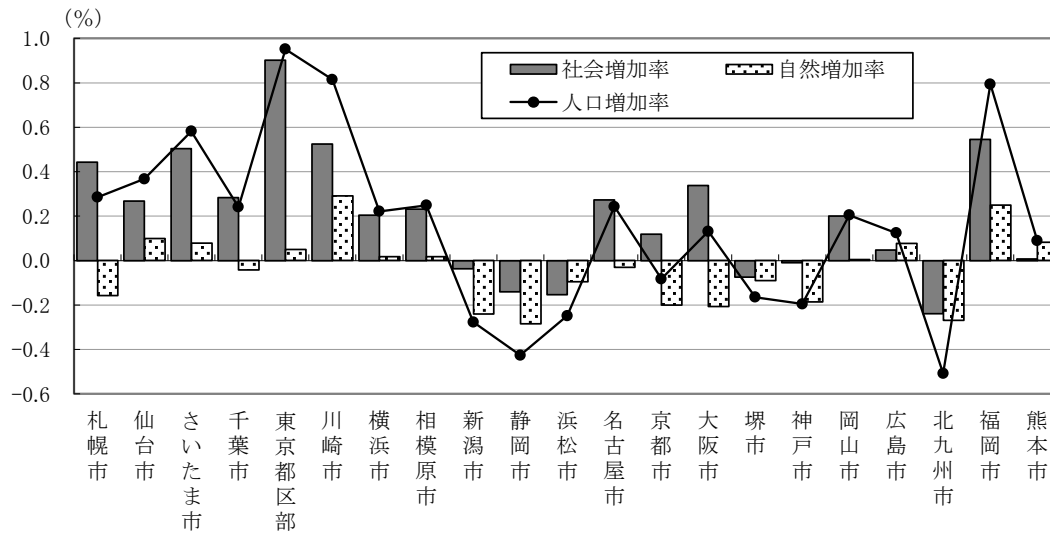


表1-11 大都市の人口動態（平成26年中）

都市名	平成26年 1月1日現在 人口	人口 増加数	平成26年中の人口動態							平成27年 1月1日現在 人口
			社会動態			自然動態				
			社会 増加数	市外 移動	その他 の増減	自然 増加数	出生	死亡		
札幌市	1,938,203	5,520	8,580	64,735	57,801	1,646	△ 3,060	14,622	17,682	1,943,723
仙台市	1,069,995	3,931	2,869	69,024	65,995	△ 160	1,062	9,306	8,244	1,073,926
さいたま市	1,253,582	7,297	6,312	56,414	49,798	△ 304	985	10,573	9,588	1,260,879
千葉市	964,314	2,325	2,732	40,665	37,156	△ 777	△ 407	7,462	7,869	966,639
東京都区部	9,067,255	86,256	81,777	328,426	267,705	21,056	4,479	80,815	76,336	9,153,511
川崎市	1,450,097	11,812	7,601	82,894	73,526	△ 1,767	4,211	14,395	10,184	1,461,909
横浜市	3,703,258	8,192	7,579	130,105	129,947	7,421	613	30,780	30,167	3,711,450
相模原市	721,155	1,794	1,669	29,093	27,424	…	125	5,614	5,489	722,949
新潟市	810,007	△ 2,244	△ 298	17,780	18,074	△ 4	△ 1,946	6,145	8,091	807,897
静岡市	709,147	△ 3,022	△ 998	18,572	19,243	△ 327	△ 2,024	5,387	7,411	706,125
浜松市	792,835	△ 1,969	△ 1,213	21,013	22,226	…	△ 756	6,859	7,615	790,866
名古屋市	2,272,075	5,520	6,207	93,557	85,549	△ 1,801	△ 687	19,842	20,529	2,277,595
京都市	1,470,129	△ 1,216	1,742	50,360	47,540	△ 1,078	△ 2,958	11,194	14,152	1,468,913
大阪市	2,683,469	3,521	9,068	177,188	168,120	…	△ 5,547	22,492	28,039	2,686,990
堺市	841,012	△ 1,388	△ 632	25,287	25,490	△ 429	△ 756	6,920	7,676	839,624
神戸市	1,540,242	△ 3,005	△ 142	49,169	48,057	△ 1,254	△ 2,863	12,218	15,081	1,537,237
岡山市	713,964	1,461	1,430	26,307	23,975	△ 902	31	6,491	6,460	715,425
広島市	1,184,269	1,470	567	39,926	38,939	△ 420	903	10,925	10,022	1,185,739
北九州市	967,539	△ 4,915	△ 2,312	41,809	45,184	1,063	△ 2,603	7,956	10,559	962,624
福岡市	1,509,893	11,988	8,234	78,166	68,114	△ 1,818	3,754	14,799	11,045	1,521,881
熊本市	739,628	661	50	40,468	40,838	420	611	7,034	6,423	740,289

注1) 横浜市以外の都市の数値については、原則、各市の公表数値による。

注2) 社会動態については、各市で取扱いが異なる場合がある。

6 外国人人口の動き

・外国人人口が多い中区

平成26年12月31日現在の外国人人口は77,828人で、総人口の2.1%を占め、前年に比べ2,528人(3.4%)の増加となっています。

行政区別にみると、中区が15,149人と際立って多く、市の外国人人口の19.5%、中区の総人口の10.3%を占めています。国籍別にみると、中国が32,248人と最も多く、次いで韓国・朝鮮(13,790人)、フィリピン(6,794人)の順で、この上位3か国で全体の約7割を占めています。

[図1-19、表1-12、表1-13]

図1-19 国籍別外国人人口の割合

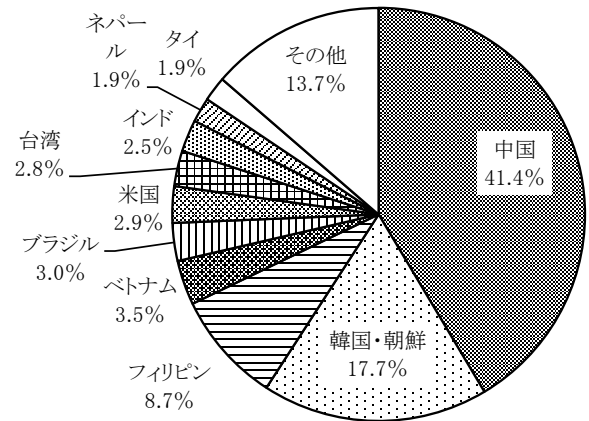


表1-12 行政区別外国人人口 (平成24年～平成26年)

各年12月31日現在

行政区	外国人人口			増加数		増加率 (%)		平成26年	
	平成24年	平成25年	平成26年	平成25年中	平成26年中	平成25年中	平成26年中	区別の割合 (%)	区別総人口に占める割合 (%) ¹⁾
横浜市	75,099	75,300	77,828	201	2,528	0.3	3.4	100.0	2.1
鶴見区	9,165	9,485	9,723	320	238	3.5	2.5	12.5	3.4
神奈川区	4,774	4,880	5,158	106	278	2.2	5.7	6.6	2.2
西区	3,563	3,526	3,653	△ 37	127	△ 1.0	3.6	4.7	3.7
中区	15,060	14,894	15,194	△ 166	300	△ 1.1	2.0	19.5	10.3
南区	7,370	7,584	8,031	214	447	2.9	5.9	10.3	4.1
港南区	2,081	2,055	2,080	△ 26	25	△ 1.2	1.2	2.7	1.0
保土ヶ谷区	4,162	4,205	4,308	43	103	1.0	2.4	5.5	2.1
旭区	2,056	2,039	2,085	△ 17	46	△ 0.8	2.3	2.7	0.8
磯子区	3,200	3,218	3,372	18	154	0.6	4.8	4.3	2.1
金沢区	2,284	2,183	2,214	△ 101	31	△ 4.4	1.4	2.8	1.1
港北区	5,064	5,082	5,394	18	312	0.4	6.1	6.9	1.6
緑区	2,475	2,570	2,733	95	163	3.8	6.3	3.5	1.5
青葉区	3,229	3,112	3,211	△ 117	99	△ 3.6	3.2	4.1	1.0
都筑区	2,588	2,524	2,557	△ 64	33	△ 2.5	1.3	3.3	1.2
戸塚区	3,063	3,024	3,188	△ 39	164	△ 1.3	5.4	4.1	1.2
栄区	974	943	951	△ 31	8	△ 3.2	0.8	1.2	0.8
泉区	2,570	2,550	2,541	△ 20	△ 9	△ 0.8	△ 0.4	3.3	1.6
瀬谷区	1,421	1,426	1,435	5	9	0.4	0.6	1.8	1.1

注1) 平成27年1月1日現在の推計人口に占める割合

表1-13 国籍別外国人人口 (平成24年～平成26年)

各年12月31日現在

国籍	外国人人口			増加数		増加率 (%)		平成26年	
	平成24年	平成25年	平成26年	平成25年中	平成26年中	平成25年中	平成26年中	国籍別割合 (%)	総人口に占める割合 (%) ¹⁾
総数	75,099	75,300	77,828	201	2,528	0.3	3.4	100.0	2.1
中国	31,655	31,236	32,248	△ 419	1,012	△ 1.3	3.2	41.4	0.9
韓国・朝鮮	14,301	13,994	13,790	△ 307	△ 204	△ 2.1	△ 1.5	17.7	0.4
フィリピン	6,619	6,642	6,794	23	152	0.3	2.3	8.7	0.2
ベトナム	1,891	2,169	2,717	278	548	14.7	25.3	3.5	0.1
ブラジル	2,599	2,432	2,307	△ 167	△ 125	△ 6.4	△ 5.1	3.0	0.1
米国	2,248	2,198	2,223	△ 50	25	△ 2.2	1.1	2.9	0.1
台湾	1,181	1,853	2,165	672	312	56.9	16.8	2.8	0.1
インド	1,541	1,701	1,945	160	244	10.4	14.3	2.5	0.1
ネパール	738	1,052	1,504	314	452	42.5	43.0	1.9	0.0
タイ	1,443	1,456	1,503	13	47	0.9	3.2	1.9	0.0
その他	10,883	10,567	10,632	△ 316	65	△ 2.9	0.6	13.7	0.3

注1) 平成27年1月1日現在の推計人口に占める割合